

2024年02月03日に横浜から新幹線で広島に来た。インターンシップのために03月29日までakicafeinnというゲストハウスで働いていた。この機会はworldpackersというプログラムからもらったんだ。worldpackersは旅人の助けの代わりに亭主はベッドやご飯などを提供するプログラム。この方法は旅人が安く世界を旅行して回れます。私はakicafeinnで掃除と受付をした。11:00から15:00まで掃除して16:00から22:00まで受付した。合計153時間働いた。この報告ではakicafeinnの組織、私の仕事、対した問題、そして最後に学んだことについて話す。

さっきお伝えしたとおりakicafeinnはゲストハウス。広島駅から歩いて5分なので旅人にとってとても便利な場所。akicafeinnの建設は4階建。1階にはラウンジとカフェと受付があるが私が働いていた時、カフェは休業だった。バリスタはなぜか辞めたと同僚から聞いたんだ。

ラウンジには台所と2台のご飯を食べられるテーブルがあった。他の階では飲食できないのでここでスタッフとお客さんと一緒に食べた。二階は女性のドミトリーで3階と4階は女性と男性のドミトリー。1階以外に各階にプライベートルーム 2室とシャワー ルーム2室と洗面所2台または3台とお手洗い2室と洗濯機と乾燥機があった。また、各階のドミトリーにはお客さんとボランティアのスタッフのために18ベッドがある。

akicafeinnは海外から旅人と日本人の旅人も人気があるのでゲストハウス中に色々なお客さんのために英語と日本語で書かれた説明書が置かれた。その理由も色々なボランティアスタッフが雇われたから。正社員はふみさんというオーナーとりょうこさんというスタッフだけだった。他はだいたい私のようなworldpackersから来たボランティアスタッフだった。日本語が話せないスタッフは掃除するだけが日本語が話せるスタッフは受付もできた。

スタッフの数は季節によって違った。2月は忙しなかったが3月は忙しかった。3月後半は暖かくなって桜が咲くのでたくさん旅人がゲストハウスに来た。お客様が増えれば掃除も増えるのでスタッフが必要だった。オーナーはakicafeinn 以外にも広島にある36hostelというべつのゲストハウスも管理した。36hostelのほうが遠くて小さいのでakicafeinnほどスタッフは必要なかった。

私の仕事は掃除と受付だった。私の初日にりょうこさんは私にゲストハウス中での基本的な掃除について習ってくれたが同僚は私に具体的を習ってくれた。普通の日は11:00時少し前に1階で掃除のスタッフが1階以外に誰が何階を掃除するかを決めに集まった。だいたい各階に2スタッフずつ割り当ててその階の掃除の課題を分けた。最初に、誰かはドミトリーを掃除している間、誰かはシャワールームやお手洗いを掃除をした。よく同時に終わったので、一緒にプライベートルームを掃除してゴミを集めた。

早く終わったら、他の階のスタッフを手伝ってあげた。ところで、掃除しながら、お客様の忘れ物を見つけた時、物の名前と見つけた場所見つけたときをメモで書いたら、受付に残っておいてくださいと言われた。最後に、各階を掃除終わったら、各階のごみを集めて地下に運んでゴミルームで分別した。掃除の時間は11時から15時までだったがみんなよく13時ぐらいに終わった。掃除しかできないスタッフは週に4回掃除したが掃除と受付できるスタッフは週に2回掃除した。

週に受付も2回した。だいたい掃除と同じ日に受付をしたので、掃除終わったら、すぐコンビニに昼ご飯を買いに行った。チェックインは16時に始まったが受付は3時に1階を掃除しないといけなかった。受付も二人でしたので誰かは掃除している間、誰かは受付ルームでお金を数えて各階を歩いて回ってベッドがお次の客さんのために用意されているか確認した。時間があれば、その日のくるお客さんのためにベッド番号と各階のドアのパスワードを書いておいた。16時から、二人で受付ルームに座ってお客さんのチェックインを待った。

受付ルームの中に、コンピューターがあった。それで、私たちはお客さんをチェックインしていない時、コンピューターでお客さんの予約を管理したりメールに返事したりできた。また、受付で歯ブラシやレンタルフェイスタオルや耳栓なども販売していた。お客さんはよく現金で払ったが時々paypayなど別の支払方法を使った。チェックインの時、私たちはお客さんを迎えて名前を聞いた。そして、予約を確認しながら、ゲストハウスの規則と売り物について説明した。英語と日本語でか言った説明書があったので、私たちは説明しながら、外国人と日本人も読める。予約を確認し終わったら、お客さんのベッドかプライベートルームまで案内して受付に戻った。時々チェックインの間に私たちは広島のことについて質問された。その時、お好み焼き屋や宮島をおすすめした。22:00少し前に今日の支払いを数えて22:00後チェックインするお客さんにチェックインの情報をメールで送ったら、受付ルームを閉めて出た。

インターンシップの間にたくさんの挑戦に直面した。まず、私は日本語でスピーキングとリスニングが下手なのでりょうこうさんの掃除の説明が分かりにくかった。

チェックインの時も、日本人お客さんに案内したり説明したりできなかった。本当にできるかなと思ってた。自分の力と同様の助けのおかげで、解決策を見つけた。掃除

時間の間に分からない言葉か文法が会ったら、後で勉強するようにメモで書いた。受

付の時、私たちは忙しくなければ、同僚と日本語を勉強したし、日本語で日本人を

チェックインするためにマニュアルを作った。最後に、働いていない時、色々な日本

語を教えるボランティアグループで日本語の会話を練習しに行った。こういうこと

で、りょうこうさんの説明が分かりやすいようになって自分でチェックインがスムー

ズに進められるようになった。

akicafeinnに諸国から来たスタッフがいた。フランス人、ドイツ人、台湾人がいたがアメリカ人は私だけ。全ボランティアスタッフは英語が少し話せるのによく母国語で喋った。私はドイツ語や台湾語が話せないので寂しくなっていた。同僚といい関係を作るために、ゆっくり同僚のことに興味を持ち始めた。私は同僚がびっくりしないように最初にラウンジでご飯を同僚と食べただけ。やがて一緒に少しずつ喋ってきた。この方法で私は同僚の国の文化について習ってくれた。具体的には台湾のお茶を飲んだりトルコの料理を食べたりした。たくさんいい友達を作ってそのいい関係によって色々な外国人と働けるようになった。

インターンシップで自分と接客業について多く学んだ。ちゃんとゲストハウスの掃除のし方や英語と日本語で受付のし方も学んだ。それに同僚との協力し方や外国人といい関係を作り方も学んだ。この経験を次の仕事に活かしたい。